

電気電子業界 2015年回顧と2016年展望

2016年2月25日

電気電子部会

Sony Brasil 千野 浩毅

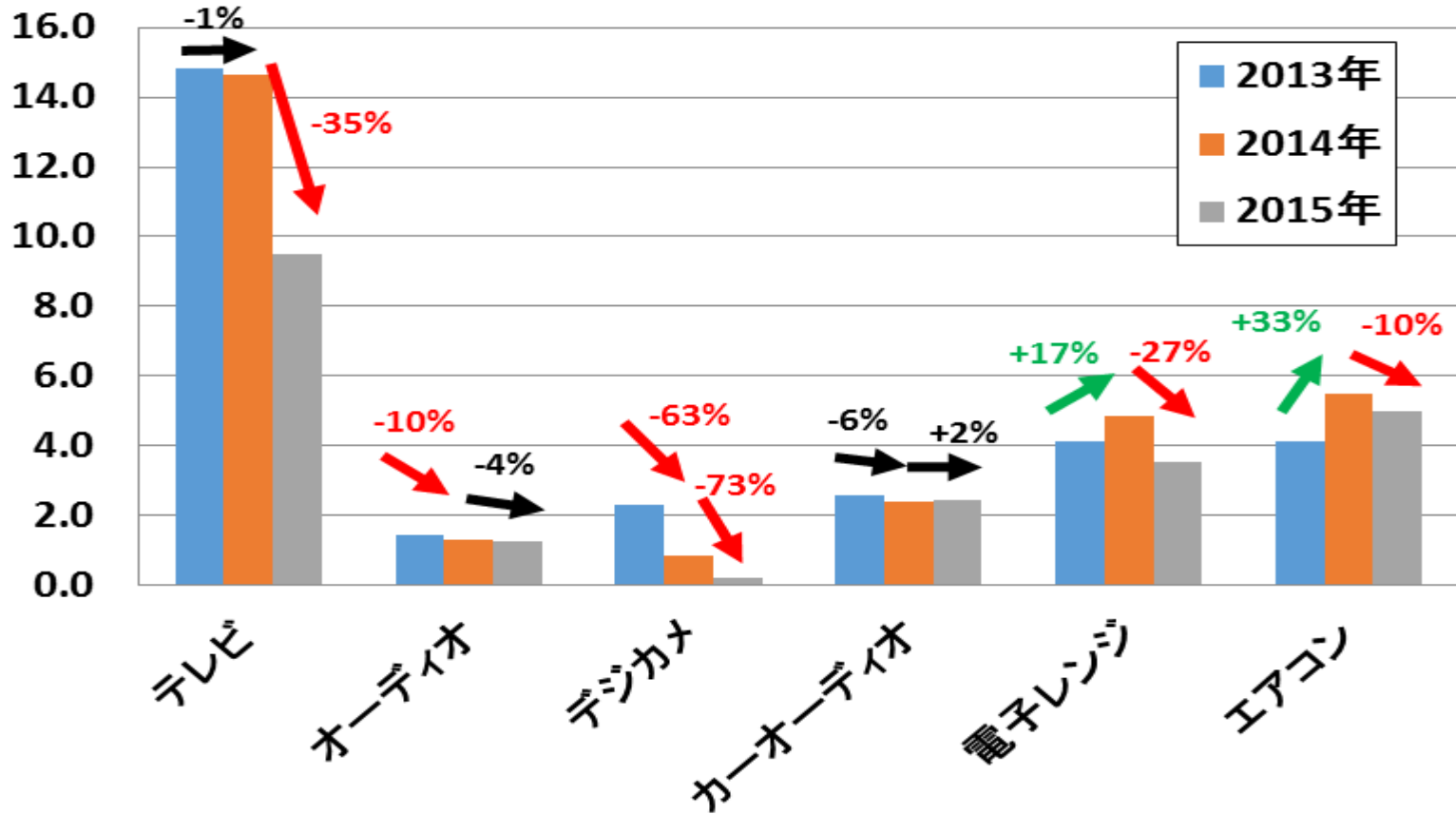
2015年回顧 ①



昨年7月に市場は一気に凍結状態となり、その状態がいまだに継続している

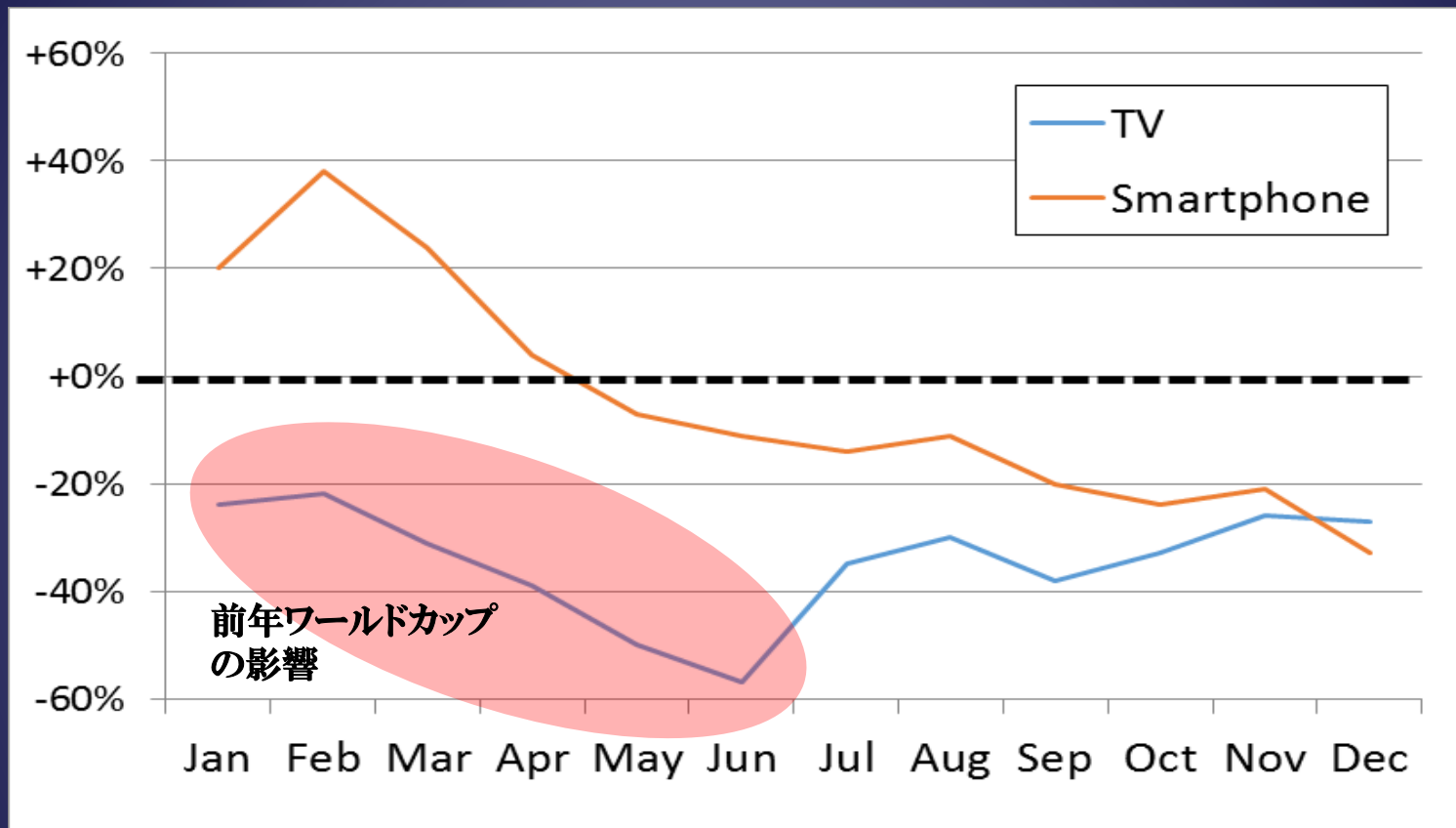
2015年回顧 ② マナウス生産数量推移

単位：100万台



スフラマ統計より

2015年回顧 ③ 小売販売数量(対前年)



	2014年⇒2015年		
	台数	金額	単価
TV	-39%	-35%	+7%
Smartphone	-9%	+7%	+17%

為替悪化(2.7⇒4.0 : 約50%)に対する価格上昇は未だ不十分

2015年回顧 ④ 会員アンケート結果

昨年7月時点

	改善	維持	悪化	合計
上期回顧	6	6	2	14
(%)	43%	43%	14%	100%
	改善	維持	悪化	合計
下期展望	4	8	2	14
(%)	29% ↓	57% ↑	14% →	100%

今回

	改善	維持	悪化	合計
年間回顧	6	2	5	13
(%)	46% ↑	15%	38% ↑	100%

「維持」を対前年比100～109%として分類

2015年回顧 ⑤ 会員アンケート 主要コメント

(-)

- 一般消費、自動車等の産業需要(部品事業)、官需の低迷
- 取引先(小売店等)の資金難による販売低迷
- 値上げによる販売数量減
- 為替悪化、インフレによる収益性悪化(増収でも減益)
- 資金管理、債権管理の困難
- 税制変更(ICMS、PIS/COFINS)に関連する悪化

(+)

- 高付加価値商品へのシフト
- 競争力強化によるシェア拡大
- 新規ビジネス拡大
- 買収事業の成長
- 輸出拡大
- 直販の拡大
- オリンピック関連事業(インフラ等)の獲得

toward
future

- 投資の厳選
- 経営体質の強化(従業員削減)

2016年の展望 ① 会員アンケート結果

	改善	維持	悪化	合計
2015年回顧	6	2	5	13
(%)	46%	15%	38%	100%



	改善	維持	悪化	合計
2016年展望	8	3	2	13
(%)	62% ↑	23%	15% ↓	100%

「維持」を対前年比100～109%として分類

- リセツヨン突入前から事業構造改革に取り組んできた企業が多い
- 16年に環境の改善は望めないが、これ以上の悪化はない(今がボトム)

2016年の展望 ① 会員アンケート 主要コメント

(-)

- ・ 市場環境の改善は望めない
- ・ 収益確保の困難は続く
- ・ 高いボラティリティの中で無理はできない
- ・ 税金関連の悪化懸念(増税に関する懸念)

(+)

- ・ 高付加価値商品へのシフト
- ・ 競争力強化によるシェア拡大
- ・ 新規ビジネス拡大
- ・ 買収事業の成長
- ・ レアル安の活用(輸出拡大、部品現地調達への切り替え)
- ・ オンライン販売の拡大
- ・ オリンピック関連ビジネスの獲得

toward
future

- ・ 投資の厳選
- ・ 構造改革・経費削減努力の継続、強化
- ・ ポスト・リセッションに向けた種蒔きと体制構築

「景気低迷期だから見えてくるビジネス機会 ～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか～」

ブラジルの中長期的なポテンシャルは高い

新規に取り組む価値のある事業領域も多々ある

過去のクライシスに比べて、今は景気循環の一局面

守りを固め、リセッションの出口に向けてやるべきことをやる

リアル安、不動産価格下落は投資の好機とも言える

液晶TV⇒スマホ⇒？？？（次のチャンスは？）

ブラジル政府への要望

「魅力ある市場」という評価の回復

(いまや誰も高度成長を期待していない中で)

為替の安定

消費の活性化・公共投資の正常化

税制改革(移転価格、ICMSクレジット残、代行納税)

税金を払わない輸入に対する厳格な取締り
(最近では国際インターネット通販の個人輸入での関税不払いが増加)

治安の改善

ご静聴、ありがとうございました。